

## 下大津の桜保存会 設立趣意書

旧下大津小学校跡地の桜は、明治三十六年（千九百三年）に戸崎と加茂の小学校が統合開校された際、翌年「加茂小（新宮）から当時の5年生が担いで運び、6本移植した」という語り継ぎです。この地で下大津村、出島村、かすみがうら市と、明治、大正、昭和、平成と生き抜いてきた下大津の宝です。

樹種は、弘前城や真鍋小の桜とともに日本最古の染井吉野であります。この「下大津の桜」の価値を知った私たちは、公民館と協力してライトアップや鑑賞会、桜祭りなどを行い、募金の活動にもご協力をいただきました。そんな中で、三年前の大雪により数本の枝が折られ、病弱枝も多くみられるようになり、老木ゆえの衰えは顕著であります。

地域の先輩や行政の協力で守られてきた桜ですが、地域から下大津という名が消える中で、「下大津の桜」として保護育成を図っていかねければ先人の思い入れや子孫の将来に悔いを残すことになることでしょう。

二〇一七年春、小学校が下大津地区からなくなつた翌年、天然記念物文化財として守り広めていきたいとの決意から、「下大津の桜保存会」を設立いたします。

何卒、私たちの思いにご賛同をいただき「下大津の桜保存会」にご参加を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十九年四月一日

「下大津の桜保存会」設立準備会一同